

広島医療生活協同組合

東北関東大震災支援ニュース

NO. 3

2011年3月17日

本日、井口あすなろ生協診療所長を代表とする医療支援部隊が現地に向け出発します！

本日夕方、広島駅から新幹線で東京の全日本民医連まで行き、そこから宮城県坂病院までは全日本民医連の手配した車で現地に向かいます。現地では被災した多くの方々、この寒さの中で避難所で健康を崩され、不安な日々を送っておられる方々が医療支援を待っておられます。その方々の大きな助けになることでしょう。

メンバーは、井口医師、岡野師長、丸岡看護師です。みんなでバックアップ体制を含めて支援していきましょう。今後も医療支援は続いていくことが予想されます。

支援物資の持ち込みは本日午前中までで中断してください

多くの方々からの支援物資を届けたいという声を聞きます。しかし、今現地では輸送のための車の燃料不足、仕分けをする人の不足、通信手段の遮断で、避難所に届けることが困難になり、全日本民医連も支援物資で部屋の中がいっぱいようです。当面支援物資については、本日午前中までの受付と致しますのでご理解ください。

◆16日現在、救援カンパ90万円を超える

・16日、青年ジャンボリー実行委員会から3万円のカンパが届けられました。次のジャンボリー開催地に宮城県の松島が予定されていましたが、今回の自地震で開催は困難でしょう。

共立病院の医局からは約20万円のカンパがよせられ、現時点で職員と外来患者さんから寄せられたカンパを併せて総額51万円となりました。生協全体で97万円の到達となりました。

長期的な支援が必要になります。今後も患者さんや職員へのカンパ活動は続けていきます。

<現地では>

福島原発の事故は深刻な状況となっています。その周辺の住民は避難していますが、老人福祉施設に入所するお年よりは動かす事ができずに25キロ圏内に留まらざるを得ない施設もあるようです。

そこでは、介護に当たる職員も施設に留まり必至の介護を行っています。本当に心打たれます。

私たちも、心をつなげていける限りの支援をつづけていきましょう。